

# 採血を受けられる患者さまへ

宇和島徳洲会病院

2021.11.20 修正

「採血」は病気の診断や病状の把握を行う検査のための血液を採取する医療行為です。  
国家資格を有する「看護師」「医師」「臨床検査技師」が採血を担当しております。  
安全で確実な採血のために以下にご協力くださいますようお願いいたします。

以下に該当する方は、事前にお申し出ください

- ◎採血時に気分の悪くなったことのある方
- ◎消毒薬（アルコールなど）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーをお持ちの方
- ◎血液透析中の方
- ◎乳房切除術を受けられた方
- ◎血液をさらさらにする薬を服用中の方
- ◎その他、採血に関してご希望や不安のある方



採血中のしびれや痛みを感じたら、すぐにお知らせください

採血後は、もまずに押さえてください

採血した後に血が止まりにくかったり、あとが青くなったりすることがあります。採血後5分間以上は、採血したところをもまずにしっかり押さえてください。



## 再採血

針を刺しても採血できない場合や、1回の採血で必要な血液量が採取できない場合には針を刺す場所を変えて再度、採血させていただきます。

## 【本人確認にご協力ください】

「患者間違い防止」のため、ご自身にお名前  
(フルネーム) と生年月日を言っていたいただいています。

### 疑問点などは

詳しい検査項目や結果の解釈などについては担当医におたずねください。  
なお、検査項目の基準値表を用意しています。ご利用ください。



## 採血に伴い起こりうる症状とご注意

採血は、細心の注意を払って行います。基本的に安全で、併発症（合併症）を起こすことは少なく、軽症なものが多いですが、まれに次のような症状が起こることがあります。その際は最善の処置を行います。

### ■止血困難・皮下血腫（青あざ）

採血後に血が止まりにくかったり青あざが生じたりすることがあります。十分圧迫して（押さえて）止血してください。

血が止まりにくい方はお申し出ください。

### ■アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出る場合があります。

### ■神経損傷

採血後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続することがあります。

約1万～10万回の採血に1回程度起こるとされています。痛み、しびれが続く場合は、お申し出ください。

### ■血管迷走神経反応

採血時や採血前後に、神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい、気分不良、意識消失などを引き起こすことがあります。

気分の悪くなったことがある方はお申し出ください。

※これらの症状が起きて診察をした場合にかかる医療費は、通常の保険診療扱いとなりますのでご了承ください。